

市政情報

TOPICS

大和中央道(若葉台工区)事業

新年度予算では、同事業認可の取得に向けて3000万円の設計図書の作成委託費が計上されました。令和6年6月に敷島工区が完成し、阪奈道路までは若葉台工区を残すところとなりました。地域住民の皆様のご理解なくして事業は進みませんが、交通渋滞の緩和や利便性の向上等、事業の必要性は大きいと考えます。丁寧な事業推進を求め今後の動向を注視してまいります。



令和7年度当初予算(案)
主要な施策項目より引用

あをがきのあとかき

我が家の長男は電車好き。通園する幼稚園でも先生からは電車通で知られているようです。おかげで私もずいぶん全国的列車について詳しくなりました。最近私が注目しているのが昨秋から運行が開始されている近鉄電車の8A系。「やさしば」というベビーカーや大きな荷物を持った旅行客向けにゆったりとしたスペースを設けた乗降扉近くの緑色のシートが特徴です。

乗降客への配慮はホームの付属設備の改良でも見られるようになりました。奈良市では市内の駅施設に対して、人にやさしい鉄道駅整備事業補助経費として国、県、市、近鉄のそれぞれの負担率のもと駅構内のトイレ洋式

化や待合室の自動扉化などバリアフリー事業を進めています。より公共交通機関を利用したくなる駅と駅周辺の街づくりに私も引き続き力を注いでいきます。



1月～3月の主な副議長公務



【1/13】奈良市二十歳を祝う会で成人 3,235 名を対象に奈良県コンベンションセンターで開催されたお祝い行事に参加させていただきました。



【3/2】東大寺での「お水取り(修二会)」に先立ち、奈良市と姉妹都市である小浜市では「お水送り」行事が開催されます。奈良市お水送り親善使節団としてお松明行列に参加させていただきました。



【3/15】旧右京小学校敷地内の跡地活用が進められ、右京コミュニティスポーツ会館が開所され、議会を代表してお祝いの挨拶をさせていただきました。



【3/25】3月定例会では予算決算委員会委員長を兼務させていただき、議事運営に当たらせていただきました。総括質疑が本会議場で行われ委員会採決に臨みました。

奈良づくり、
安心づくり、
夢づくり、

奈良市議会議員

太田こうじ



市政報告

あをがき通信

Vol.23

3月定例会のご報告

平素より私の政治活動に温かいご理解を賜り誠にありがとうございます。市議会では任期最後となる新年度の予算審議を含めた3月定例会が2月28日から3月31日まで開会されました。

結果、令和7年度一般会計予算については、予算決算委員会の採決の場で組み替え動議1本、修正予算2本が市議会から提案されたものの、いずれも賛成少数で否決、**予算原案についても賛成少数で否決**されました。

その後、市長から同予算については議会からの指

摘を受けて撤回申入れがあり、再度提案された予算についての議決が行われ、**3月28日に予算成立、31日に残余案件を議決して閉会**となりました。

今号では上記の概要を紹介しています。私は今定例会で**副議長職に加えて予算決算委員長を兼職**させていただき、議会運営にあたらせていただきました。限られた市税をいかに有効に市民に行政サービスとして提供できるか、引き続き議会人としての職責を果たしてまいります。

●経歴 昭和54年(1979年)奈良市生まれ。市立あやめ池小学校卒、大阪明星中学・高等学校卒、関西学院大学法学部卒。
平成25年(2013年)7月より奈良市議会議員(現在3期目)
自由民主党会派に所属、奈良市議会第91代副議長、市民環境委員会委員。

●連絡先 奈良市議会議員 太田晃司事務所
〒631-0033 奈良市あやめ池南5丁目2-18
TEL: 0742-40-5015 FAX: 0742-40-5016
Mail: info@otakoji.net

太田こうじ公式サイト

これまでの市政報告はホームページの書庫からご覧いただけます。

<https://www.otakoji.net>



各種 SNS でも情報発信しています！



フェイスブック公式ページ
<https://m.facebook.com/otakoji.nara>



Ameba 公式ブログ
<https://ameblo.jp/otakoji-nara/>



フェイスブック公式ページ



Ameba 公式ブログ

3月定例会

3月定例会では、令和7年度一般会計予算議案について、3月25日の予算決算委員会採決において共産党から組み替え動議、日本の維新の会から修正予算、公明党・自由民主党・新世の会3会派からの修正予算が提案されましたがいずれも賛成過半数に届かず否決となりました。その後、予算原案に対しての採決も賛成少数のため否決となりました。

3月27日に奈良市から予算議案の撤回申入れがあり、28日に再提案があり可決されました。議会から提案した前述の修正提案2本を反映した内容であり、その修正内容は下記の通りとなります。

再提案の一般会計予算で当初から減額された事業

- 防災対策車両整備事業（災害用トレーラー型トイレ整備事業、同トイレ運用）…………… 2,870万円
- 災害用物資備蓄経費（一時避難所用テレビ関連経費）…………… 530万円
- 定住促進事業…………… 523万2千円
- 国際発信事業経費（奈良・サマルカンド特別交流展事業）…………… 6,800万円
- ※令和7年度奈良市サマルカンド交流事業特別会計予算へ振替
- プレミアム付商品券発行事業経費…………… 6億6,500万円
- 公共交通事業者燃料費高騰対策事業経費…………… 3,000万円

そのほか、財政調整基金の差額調整を含め総額7億1185万2千円の減額となり、一般会計予算は**1672億8814万8千円**で議決されました。

個別の事業について、私を含め賛成多数で議案が議決された理由については右記 QRコードよりアメーバブログに私の見解を記載させていただいておりますので別途ご確認をいただければと考えております。



可決された新年度予算のうち市民よりご要望を頂いていた主な事業

- 小中学校体育館への空調設置（1億8600万円）
- 高齢者補聴器購入助成（380万円）
- オンライン公共施設予約システムの導入（3518万円）
- あやめ新橋架替工事（3億円）技術業務委託などは別途計上

※その他の論点については5月1日発行の市議会だより NO.162 をご参照ください

CHECK!

新年度予算のうち議会から修正要望のあった項目について2つの観点から考えることができます。

1点目は物価高騰対策です。昨今の食材費や燃料費などの価格高騰にともなって、市民生活に大きく負担となっている点への行政からの補助については評価ができることです。ただその財源については政府からの地方創生臨時交付金対応だけではなく、プレミアム商品券事業のように市の貯金である**財政調整基金**を切り崩してまで実施するべきものであるか、が問われました。

2点目は中長期の計画に基づいて事業が実施されているかです。たとえば防災予算に関連していえば、災害用トレ-

ラー型トイレについては市民からご要望もあり私も必要性を感じていました。一方で鴻ノ池運動公園一帯を総合的な防災拠点として活用するための計画、物資輸送計画については担当課からの予算要望があったにも関わらず査定結果で予算が計上されませんでした。まずは中期的な計画を策定したうえで、個々に必要な防災事業に着手することが望ましいと考え、今回は議会として見送りをさせていただきました。いずれも事業そのものに反対をしているのではなく、効果的に市財源を活用できているか、また短期的な視点での事業予算になっていないか等の課題を乗り越えたうえで再度提出を求めるものです。お預かりした市税をしっかりとチェックできるよう引き続き努めてまいります。



あやめ新橋の完成イメージ。あくまで計画段階図です

委員会で取り上げた主な質疑

多文化共生事業について （令和7年3月・予算決算委員会市民環境分科会）

太田 奈良市内在住の外国人住民の人口、また国籍別の内訳について。多文化共生事業の主な事業内容についてお聞きます。

共生社会推進課長 令和7年1月1日現在の奈良市在住の外国人の人口は5,107人、国籍別として人口の多い5か国は、中国1,118人、韓国835人、ベトナム791人、フィリピン336人、ミャンマー298人となっている。外国人が日常生活を送られるなかで「言葉・コミュニケーション」に困っている方が最も多いとの県調査がある。奈良市の窓口課で外国人の諸手続きを行う際の円滑なコミュニケーションツールとして30台の翻訳機導入を予定している。



令和7年度当初予算（案）主要な施策項目より引用

CHECK!

奈良市人口は令和7年1月1日現在で34万7187人。1.4%にも相当する人口を占めています。日本そして各国の生活や文化など様々な習慣の違いを理解し合い、尊重し合うことが今後ますます求められます。**共尊共生の精神をキーワードに**、たとえば外国人向けの情報を一元集約するポータルサイトの立ち上げの必要性など、お互いに暮らしやすい街づくりを目指して行政運営に努めていただくよう意見しました。

高齢者のごみ出し支援について （令和7年2月・市民環境委員会）

太田 単身の要介護者等でごみ出し支援を必要とされている方への施策について、市役所内では環境部と福祉部と市民部が継続して協議を続けていると伺っているが、現在の動向についてお聞きます。

収集課長 環境部としては現行のステーション方式によるごみ収集体制の維持・管理を行う。3部での協議を経て、**地域住民同士の助け合いを促進するコミュニティ型支援を検討しているところ**。

CHECK!

令和7年度に**福祉部では介護予防ボランティア補助金事業が運用**され、現在のステーション収集方式のもとで特定の地域団体が様々な介護予防ボランティア事業への補助メニューの一つとして高齢者ごみ出し支援を盛り込むとのこと。

しかし、年々高齢者人口は増加する傾向のなかで、お隣の生駒市では条件に該当する住居へ個別収集する「まごころ収集」をすでに実施しています。**環境部に対して福祉部の試験運用と並行して独自の個別収集の可能性についてさらなる研究をいただくよう意見**しました。

なら100年会館改修基本計画について （令和7年3月・予算決算委員会市民環境分科会）

太田 なら100年会館は開館から25年以上が経過しており、これまでもエントランスホールにおいて雨漏りが発生するなど、利用者への影響も大きく、その都度の修繕が実施されてきました。7年度の事業で「**なら100年会館改修基本計画**」が計上されていますが、この改修基本計画によって、どの程度の時間軸と総額費用を想定しながら施設改修を行おうとしているのか、お聞かせください。

文化振興課長 「なら100年会館改修基本計画」においては、**施設の現況を調査するとともに、将来的な施設活用を見据えた改修の方向性を定め、ホールや各室の機能の検討、コスト試算等を行うもの**である。改修の期間や金額については、基本計画の策定にあたり施設の現況調査を行い、改修内容の見通しを立てたうえでなければ想定が難しい状況であるが、他自治体の事例においては、基本設計及び実施設計に1年から2年、施工期間として1年から2年を要しているケースが見られるところである。



なら100年会館ホームページより引用

CHECK!

これまで100年会館の個別施設計画がようやく策定をされ、以前より意見をしていた事業だけに一定の評価をさせていただきたいと考えます。現在、奈良県文化会館がまとまった期間で改修のため休館をされています。市内の公共文化施設が同時に休館することは利用の機会損失となるので避けなければなりませんが、**県文化会館リニューアル後も想定しながら、本市の100年会館についても同様のリニューアル工事をしていくことも今後必要ではないか意見**しました。